

5年後の150周年に向けて頑張ろう ～開校145周年記念式～

今日は、良城小学校のとても大切でうれしい日です。皆さんは今何歳ですか。誕生日はいつですか。誕生日はプレゼントをもらったり、家族でお祝いをしてもらったりする、とてもうれしい日ですよ。

今日1月15日は、この良城小学校の誕生日なのです。学校の誕生日は、「開校記念日」と言います。

さて今日で良城小学校は何歳になったのでしょうか。145歳です。今から、145年前の明治6年、1873年の1月15日にこの学校の基になる小学校が出来ました。

ここで質問です。良城小学校の最初の名前は何と言うのでしょうか。知っている人も多いと思いますが、この質問は3年生に答えてもらいましょう。3年生は1学期にその場所に行きましたよね。

そう、新町小学校です。ここから1キロメートルくらい向こうの新町にある円正寺を借りて小学生に勉強を教えることになりました。これが、新町小学校、良城小学校の赤ちゃんです。その頃の児童数は100人ちょっとだったそうです。

その後、新町公民館付近に新しい校舎が建ち、3年後の明治9年に、名前がこの「良城小学校」に変わりました。でも、実はこの文字の読み方は、「りょうじょう」ではありませんでした。最初はこの字を書いて「よしき」小学校と言っていました。

この住所の山口市吉敷、地域も吉敷地域といえますよね。昔からここは吉敷と呼ばれる地域でした。

ですから、吉敷の小学校ということで、「よしき小学校」という名前だったのですが、漢字は「良城」という字を使いました。

昔からこの良城という漢字は、いろいろな時にこの吉敷地区の別名のように使われていたそうです。

学校が出来前の江戸時代の終わり頃にも、この地のお殿様である吉敷毛利の軍隊もこの字を使って「良城隊」と書いて、「吉敷隊」と言っていたそうです。その軍隊が大活躍したことから、自分隊の学校である吉敷小学校の、「よしき」という字にはそのときの呼び名と同じ、この地域にとって縁起のいい漢字である「良城」という漢字をつかったそうです。

その後、明治20年に「良城（りょうじょう）尋常小学校」という名前に変わり、それ以来「りょうじょう」と言われるようになりました。

それから、児童数もだんだん増え400人を超えるようになってきました。新町では校舎が狭くなったので、16年後の明治22年、新町から今の良城学校のあるこの場所に新しい校舎が建てられて、移りました。それから今日までの129年

間ずっとこの場所にあるのです。

どうして、今のこの場所に建てられたか、良城小の皆さんはよく知っていますよね。では、ここで次の質問です。この場所は、大昔、今から200年以上前、何かがあった場所です。それはなんだか知っていますか。

そう「憲章館」です。憲章館は、もっと古い、江戸時代の学校です。憲章館は学校と言うよりは、塾と言っている所でした。

校長先生や教頭先生が車を止める場所の後ろに石碑が建っていますよね。先ほどお話しした吉敷のお殿様の毛利藩が建てたもので、この憲章館で学んだ人たちからも、あの明治維新を進めた、たくさん立派な人が出たそうです。

今日は、この良城小学校の生まれた頃のお話をしました。低学年には、少し難しかったと思いますが、皆さんの学校のことを出来るだけ詳しく知ってくださいね。

学校には、この「ふるさと吉敷」という子ども向け本があります。是非詳しく読んでみてください。

校長室の前には、古い学校の写真や資料がいくつか飾られています。是非、見に来てくださいね。

これは大正時代の校舎です。このころ、授業開始30分前とお昼12時には今と違うこんなチャイムで時間を知らせていたそうです。

これは、古い校舎です。

あと5年で記念すべき150周年です。今の1年生はそのとき6年生です。きっと盛大な記念行事があるはずですよ。そのころもっともっと楽しくてたまらない良城小学校になっているといいですね。

これで、145年目の開校記念日のお話を終わります。

今日のお話をうちに帰ってから家の人にお話をして、一緒に良城小学校のお誕生日を祝ってほしいと思います。

